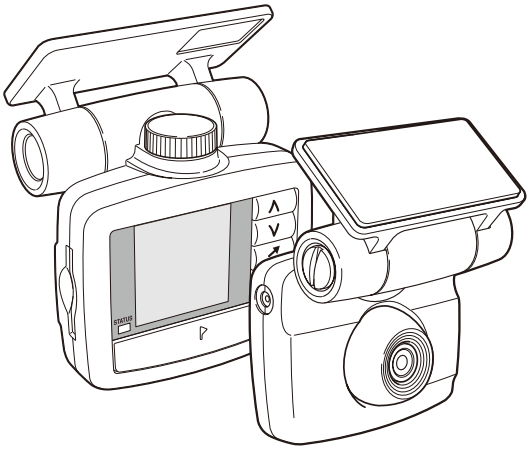
Logitec

ディスプレイ搭載ドライブレコーダー

LVR-SD100BK



取扱説明書

このたびはドライブレコーダー「LVR-SD100BK」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
まず最初に「スタートアップガイド」をお読みの上、取り付け、電源の接続など、設置を行ってください。
取扱説明書（本書）には、本製品の使用方法や安全にお使いいただくための注意事項などが記載されています。
本製品をお使いになる前に、本書を必ずお読みいただき、内容をご理解いただいた上で、お使いください。

目次

はじめに

安全上のご注意……2
使用上のご注意……4
LVR-SD100BK の特長 ……5

LVR-SD100BK の使いかた

各部の名称と働き……6
電源を入れる……7
日時を設定する……8
映像を録画する…… 10
　衝撃感知で映像を保護する …… 10
　ボタン操作で映像を保護する …… 11
映像を再生する…… 13
　映像を再生する …… 13
　再生画面でのボタン操作 …… 14
　再生を一時停止する …… 15
映像を削除する…… 16
カメラ映像を表示する…… 18
システムの設定を変更する…… 19
　システム設定について …… 20
ソフトウエアをアップデートする… 22

RecordViewer の使いかた

映像を読み込む準備をする…… 23
　PC とカードリーダーの準備 …… 23
　RecordViewer を起動する …… 23
　RecordViewer ウィンドウ …… 25
　3G センサーグラフについて …… 26
記録された映像を再生する…… 27
　映像の再生に使うボタン …… 29
　データをバックアップする（コピー）… 30
映像を変換する…… 31
　映像を AVI 形式で保存する …… 31
　映像を静止画で切り出して保存する 33

その他

困ったときは…… 35
製品仕様…… 37
サポート修理受付窓口のご案内… 38
保証書

安全上のご注意（必ずお守りください）

■本製品を正しく安全に使用するために

- この「安全上のご注意」は製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。ご使用の前には必ず記載された注意事項をよくお読みになり記載事項にしたがって正しくお使いください。
- この「安全上のご注意」をお読みになった後は、いつでも見られるように大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や他の方への危害、財産の損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

⚠ 警告

この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険性または重大な物的損害が発生する可能性」があります。

●自動車を運転中に操作しないでください。
運転者による運転中の操作は大変危険ですので、絶対に行わないでください。本製品の操作は、必ず車が停止した状態で、周囲の安全を確認してから行ってください。フラグボタンを押すときは、危険がないように、周囲の安全を確認したのち、素早く操作してください。

●取り付けは、運転に支障がない場所（ブレーキ操作や、ハンドル操作の妨げにならない場所）に接続してください。

●エアバックの近くに取り付けたり配線をしないでください。
緊急時にエアバックの動作を妨げたり、エアバックによって製品が飛ばされ、ケガや事故の原因になる恐れがあります。

● SD カードの差込口やその他コネクタに異物を入れないでください。
火災、感電の原因になります。

●万一、異常が発生したときは
本製品から異臭や煙が出たときは、直ちに使用を中止し、電源を切りシガープラグをシガーソケットから抜いてください。その後は本製品を使用にならず、販売店にご相談ください。

●分解しないでください。
本書の指示に従って行う、作業を除いては、自分で修理や改造・分解をしないでください。感電や火災、やけどの原因になります。

⚠ 注意

この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性」があります。

●濡れた手で扱ったり水気の多い場所での使用 / 保管は行わないでください。
本製品内部に液体が入ると、故障、火災、感電の原因になります。

●シガーソケットの形状をご確認ください。
外国産車や一部の国産車では、本製品とシガーソケットの形状が適合しない場合がありますので、ご注意ください。

●取り付けは確実に行ってください。
正しく取り付けがされていないと、製品が脱落し、ケガをする恐れがあります。
また、取り付けの際、ケガをしないように、スタートアップガイドに従い、慎重に行ってください。

●本体は精密機器のため、極端に大きな衝撃や振動の加わる場所、強い磁力の発生する場所、静電気の発生する場所などでの使用・保管は避けてください。

●日本国以外では使用しないでください。
この装置は日本国内専用です。他国には独自の安全規格が定められており、この装置が規格に適合することは保証いたしかねます。また、海外からのお問い合わせに関しても一切応じかねますのでご注意ください。

●運転中に製品の設定、操作をしないでください。また運転中は録画状態を確認するために製品を注視したり、わき見したりしないでください。

その他の注意事項（その他、こんなことにも注意してください。）

●シガーソケット付近に段差などがあり、本製品を十分に差し込めない場合、市販の分配 / 延長ソケットをお買い求めください。

●本製品はマイナスアース車専用です。プラスアース車では使用できません。

●本製品は 12V/24V 対応です。その他の電圧では使用しないでください。

●ヒューズを交換するときは、必ずアンペア数を確認し、規定の容量（0.3A）のもの使ってください。

●車種によっては、キーを抜いても、シガーソケットから電源が供給され、バッテリー上がりの原因となる場合があります。ご使用の車がこのタイプの場合、車から離れる際は、必ず本製品をシガーソケットから取り外しておいてください。

●本製品が汚れたときは、水または中性洗剤を少量含ませた柔らかい布で、拭いてください。ベンジンやシンナーを使用すると変形、変色の原因となります。

●シガーソケット内のごみや、汚れは、本製品の動作不安定や故障の原因となります。汚れを取り除いてから使用してください。

使用上のご注意

- 本製品を取り付けたことによる、車両や車載品の故障、事故等の付随的損害について、弊社はいっさいその責任を負いません。
  また本製品を使用して記録された映像は、事故などのトラブルに対して、裁判などでの証拠能力を保証するものではありません。
- 本製品は、すべての状況においての映像の記録を保証するものではありません。特に以下の場合、上書き記録されることによりデータが保護されない場合があります。
  - 車両への衝撃が弱く、本製品のデータを保護する機能が働かない場合
  - 人や自転車との事故で、事故の衝撃が軽微な場合
  - 車両がスリップするなどして、本製品にかかる衝撃が緩和された場合
  - 衝突時の衝撃で本機への電源供給が切断されて記録が出来ない場合
  - 水没や大きな事故により本製品が損傷を受け、データそのものが破損した場合
  - お客様の設定によって停止機能が動作しない場合
- 本製品の使用によって生じた SD カード上に保存されたデータ破損、車両及び人身、その他事故に関わる損害について、弊社は一切責任を負いません。
- **走行中に製品の設定、操作をしないで下さい。また走行中は録画状態を確認するために製品を注視したり、わき見したりしないでください。**
- 製品の動作を確かめるために、急ブレーキなどの危険運転はお止め下さい。
- LED タイプの信号機の場合は映像がちらついたり、色の識別がむずかしい場合があります。
- 本製品は車両の走行状態、事故時の状況を記録するための機器です。その他の目的には使用しないでください。
- 本製品の使用方法、および、本製品で記録した映像、音声のデータの使用目的や使用方法によっては、被写体のプライバシー等の権利を侵害する場合があります。本製品およびその記録データの使用については、法令等に従って、十分にご注意ください。
  また、本製品を取り付ける際は、道路交通法等法規に従って正しく取り付けてください。(スタートアップガイドを参照してください)
- 本製品は国内での使用を想定して設計されています。海外での使用は保証の対象外となります。

LVR-SD100BK の特長

LVR-SD100BK は、内蔵の 3G センサーにより衝撃を検知した事故時などの映像や日常の運転の映像などを保存し記録することで、事故処理でのトラブルの低減や安全運転やエコドライブへの意識向上に役立てることができます。
またディスプレイの搭載により、設定、取り扱いが容易になっています。

■ **3 つの記録で安全**――以下の 3 つの方法で、残したい映像をしっかりと記録することができます。1. エンジンの始動（シガーソケットからの給電）に合わせて録画を開始し、常時上書きを繰り返しながらの走行中の映像の記録。2. 感度設定可能な 3G センサーで事故や急ブレーキなどの衝撃を検知したときの前後計約 60 秒の映像の記録。3. 製品正面のフラグボタンを押す手動での映像の記録。

■**ディスプレイ搭載で手軽に設置**――内蔵のディスプレイを使い、他の機器を接続しないで設置時の画角調整や、本体の設定、撮影映像の確認ができます。撮影時の画角の微調整は縦方向に加えて横方向にも左右計 14 度の範囲で設定できます。また、底面のビデオ出力端子を使い、RCA 入力端子搭載のポータブル DVD プレーヤ、カーナビの画面などにも映像を出力できます。（別途適合のケーブルが必要。）

■**4GB の SD カードが付属（ビューアーソフトウェアも収録）**――標準で付属の SD カードには、約 2 時間分の映像を記録することができます。記録映像がカード容量の上限になった時には、メッセージを表示しますので、SD カードの交換などにより、映像の撮り逃しも防ぐことができます。また SDHC の SD カードにも対応しているので、大容量のカード（最大 32GB）を使い記録時間を増やすことができます。

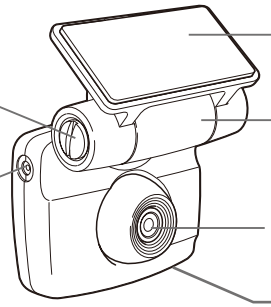
■**付属のソフトウェアで、記録した映像を確認**――撮影した映像記録は、SD カードをパソコンに接続して専用の PC ビューアーで確認できます。PC ビューアーでは、記録ファイルを種類ごとに表示、記録時間と車輌のセンサーに衝撃の加わった時点での動作状況の分析、確認ができます。映像の再生は、早送り、コマ送りができます。例えば事故の映像などは前後の映像を早送りで、瞬間の映像をコマ送りにして確認することができます。また、独自形式で保存された記録ファイルの標準的な動画 (AVI)、静止画（JPEG）ファイルへの変換、出力も可能です。

■ **12V と 24V の両方に対応**――電源として 12V と 24V に対応。トラックなどの大型車を含めた多くの車種でご使用いただけます。

■**車内音声の録音可能**――本製品のマイクで車内の音声も映像に合わせて録音でき、車内での会話や緊急時の音声を記録することができます。

各部の名称と働き

正面



上下角度固定ネジ
ブラケットの角度を固定するネジです。硬貨を使用してネジを回します。

DC ジャック（12V/24V 車対応）
付属のシガープラグコードを接続します。

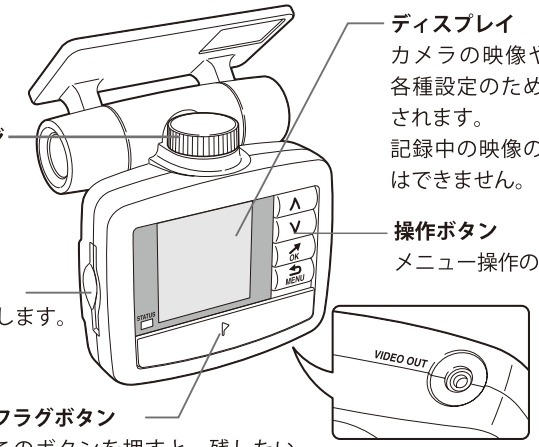
両面テープ

ブラケット
フロントガラスへの取り付け部分です。

レンズ

マイク
車内の音声が記録できます。

背面



ディスプレイ
カメラの映像や記録された映像、各種設定のためのメニューが表示されます。
記録中の映像のディスプレイ出力はできません。

左右角度固定ネジ

操作ボタン
メニュー操作のためのボタンです。

SD カード挿入口
SD カードを挿入します。

フラグボタン
このボタンを押すと、残したい映像を記録できます。

ビデオ出力端子（3 ピンミニジャック）
ポータブルムービープレイヤーやカーナビなど、外付けのモニタを接続できます。
（別途適合したケーブルが必要です。）

付属品

SD カード（4GB）
シガープラグ、ケーブル（約 4m）
両面テープ× 2
（フロントガラス貼付用、1 枚は製品に貼付済み。）
ケーブルクリップ× 3
ビューアーソフト（付属 SD カードに格納）
『取扱説明書』（保証書付）
『スタートアップガイド』

電源を入れる

車のエンジンまたは ACC の ON に連動して、本製品の電源が ON になります。電源が入ると、自動的に録画が開始されます。

1. **付属の SD カードが本機にセットされていることを確認します。**

SD カードがセットされていないときは、本機の電源が入っていないことを確認した後、SD カードをセットします。

2. **車のエンジンを始動します。**

本機の電源が入ると、STATUS ランプとフラグランプが点灯し、オープニング画面が表示されます。

続いて、録画準備中の画面が表示されます。

メモ

使用する SD カードの容量によっては、時間がかかる場合があります。

「ピッ、ピッ」と音がして、録画が開始されます。

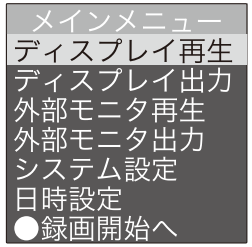
メモ

ビープ音の設定が「なし」のときは、音はしません。→「システムの設定を変更する」（P. 19）

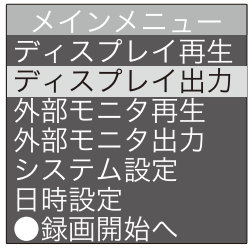
日時を設定する

日時を設定します。設定した日時は、本機に内蔵の電池によって保持されますが、常に正しい日時、時刻を維持するために、1ヶ月に一度は日時を設定し直すことをお勧めします。

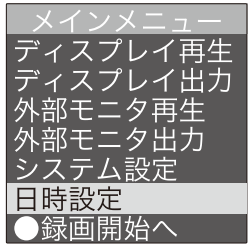
1. **録画中の状態から、[MENU]を1秒以上押します。**
メインメニューが表示されます。



2. **[∨]を押して、［日時設定］を選択します。**



3. **[OK]を押します。**
日時設定画面が表示されます。



4. **[OK]を押して、設定したい項目（年 / 月 / 日 / 時 / 分 / 秒）を選択します。**
[OK]を押すたびに、選択項目（反転表示）が下に移動します。

5. **設定したい項目を選択し、[∧]または[∨]を押して、数値を変更します。**
[∧]または[∨]を押すたびに、数値がひとつずつ増減します。

6. **[OK]を押して、[設定保存] を選択します。**
設定をキャンセルする場合は、[MENU] を押してください。

7. **[OK]を押します。**
設定が完了したことを知らせるメッセージが表示された後、メインメニューに戻ります。

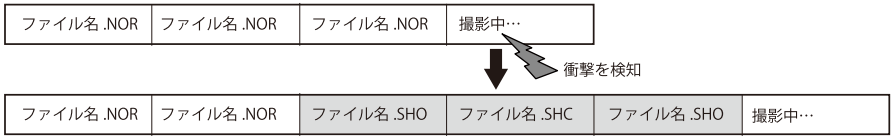
8. **録画を再開するには、[∨]を押して、［●録画開始へ］を選択し、[OK]を押します。**

映像を録画する

本製品は、エンジン始動または ACC の ON に合わせて録画を開始する常時録画に加え、３G（加速度）センサーによる衝撃検知、およびフラグボタンを押すことにより、データの種類を変え、保護をし、走行中の映像を記録します。
映像は、約 8MB（VGA で約 23 秒）のファイルごとに、分割されて記録され、常時上書きを繰り返しながら記録されます。

衝撃感知で映像を保護する

３G センサーが設定以上の衝撃を感知すると、常時録画のデータが衝撃検知に関連した映像ファイルとして保存され、常時録画の上書き対象から除外されます。
データは、衝撃検知時点と、検知の前後のファイルで変更されます。



衝撃発生時のファイルと、前後のファイルの拡張子が変わる

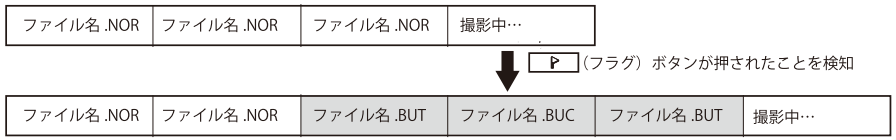
メモ

記録される映像ファイルは5種類あり、それぞれ拡張子が違います。☞「ファイル名の違い」(P. 15)

1. 録画中の状態で、衝撃を検知すると、「ピッピッピッ」と音がして、画面にメッセージが表示されます。 [▶] が点滅します。

ボタン操作で映像を保護する

正面の [▶] を押すと、常時録画のデータがボタン検知に関連した映像ファイルとして保存され、常時録画の上書き対象から除外されます。
データは、ボタンが押されたときと、その前後のファイルで変更されます。



ボタンが押された時のファイルと、前後のファイルの拡張子が変わる

1. 録画中の状態で、[▶]（フラグ）を押します。

[▶] が押されると、「ピッ」と音がして、画面にメッセージが表示されます。[▶] が点滅します。

メモ

システムの設定で、データ保護「する」に設定されていると、データの上書きができないためエラーメッセージが表示されます。☞「システムの設定を変更する」(P. 19)

エラーメッセージが表示された時

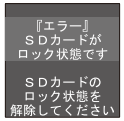
SD カードがセットされていない時や SD カードがロックされている時など、SD カードが正常に読み取れない場合は、それぞれ次のエラーメッセージが表示されます。

●SD カードがセットされていない時

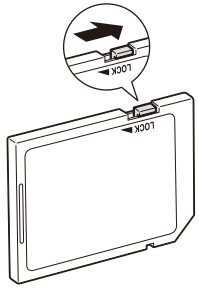
いったん電源を切り、SD カードをセットしてください。

● SD カードがロックされている時

いったん電源を切り、SD カードのロックを解除後、再挿入してください。



SD カードのプロテクトスイッチがロックされていないか確認します。ロックされている場合は、下図のようにプロテクトスイッチを OFF の状態にしてください。



映像を再生する

映像を再生する

記録された映像を本機で再生し、記録された映像を確認することができます。
また、外付けのモニタを本機に接続すると、外付けのモニタやカーナビなどに映像を表示することもできます。

メモ

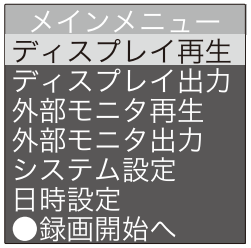
外付けのモニタやカーナビなどに映像を表示するには、別途ケーブルを準備する必要があります。

1. [MENU]を 1 秒以上押します。

メインメニューが表示されます。

2. ［ディスプレイ再生］が選択されていることを確認します。

外付けのモニタで再生するときは、［外部モニタ再生］を選択します。



3. [OK]を押します。

［再生データ種類］画面が表示されます。

4. [∨]または[∧]を押して、ファイルタイプを選択します。

ファイルタイプ	内容
全てのデータ	すべてのデータを一覧表示します。
衝撃データ	衝撃が検知された時点で記録された映像ファイルを一覧表示します。
ボタンデータ	[▶]［フラグ］ボタンを押して記録された映像ファイルを一覧表示します。

5. [OK]を押します。

選択した種類の映像ファイルが一覧 示されます。

6. [∧] または [∨] を押して、再生する映像ファイルを選択します。

メモ

一覧画面を表示した直後は、一番古いファイルが選択されています。

7 件以上映像ファイルがあるときは、[∨] を 1 秒以上押すと、次のページが表示されます。

注意

[∧] を押しても、前のページに戻ることはできません。

7. [OK] を押します。

映像が再生されます。

メモ

読み込みに多少時間がかかることがあります。選択したファイルの再生が終わると、自動的に次のファイルが再生されます。停止操作をするまで、順次再生されます。

ディスプレイ再生

外部モニタ再生

8. 再生を終了するには、メインメニューに戻るまで [MENU] を繰り返し押します。

9. 録画を再開するには、[∨] を押して、［●録画開始へ］を選択し、[OK] を押します。

再生画面でのボタン操作

∨	次のファイルを再生します。押し続けると、映像を早送りします。
OK	再生を一時停止します。一時停止中の画面でこのボタンを押すと、再生が再開されます。
MENU	ファイルの一覧画面に戻ります。

メモ

[∧] を押しても、前のファイルに戻ることはできません。

[MENU] を 3 秒程度長押しすると、ファイルの削除範囲画面に進みます。削除画面から再生画面に戻るには、もう一度 [MENU] を押します。☞「映像を削除する」（P. 16）

ファイル名の違い

本機が記録する映像ファイルには、5 つの形式があります。ディスプレイに表示されるファイル名の拡張子で区別できます。

拡張子	記録形式
NOR	常時録画のときに作成される映像ファイルです。約 8MB（VGA で約 23 秒）ごとに 1 ファイルが自動的に作成されます。
SHC	衝撃を検知したときに作成される映像ファイルです。
SHO	衝撃を検知したときに作成される、SHC ファイルの前後 2 つの映像ファイルです。
BUC	[▶] を押したときに作成される映像ファイルです。
BUT	[▶] を押したときに作成される、BUC ファイルの前後 2 つの映像ファイルです。

再生を一時停止する

映像の再生を一時停止できます。

1. 映像を再生します。

映像の再生操作については、「映像を再生する」（P. 13）を参照してください。

2. [OK] を押します。

一時停止画面が表示されます。

3. 再生を再開するには、[OK] を押します。

映像が再生されます。

メモ

一時停止画面には、再生中の映像のファイル名が画面下に表示されます。

映像を削除する

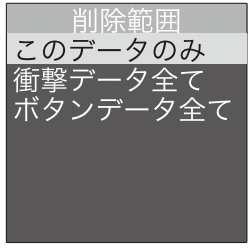
SD カードに記録されている映像を削除できます。

1. **映像を再生中の画面（または一時停止中の画面）で、[MENU] を 3 秒程度長押しします。**

削除範囲画面が表示されます。

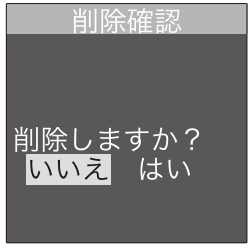
2. **削除する映像の範囲を選択します。**

［このデータのみ］	表示していたデータだけを削除します。
［衝撃データ全て］	衝撃を検知したときに作成されるデータを全て削除します。
［ボタンデータ全て］	[▶] を押したときに作成されるデータを全て削除します。

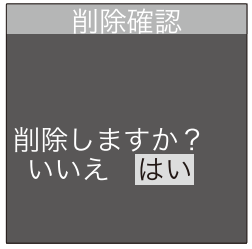


3. **[OK] を押します。**

削除を確認するメッセージが表示されます。



4. **[∨] または [∧] を押して、［はい］を選択します。**



5. **[OK] を押します。**

指定した範囲のデータが削除され、全てのデータの一覧画面が表示されます。

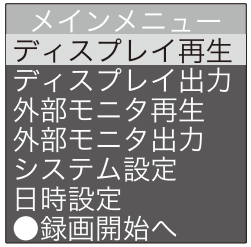
6. **メインメニューに戻るまで、繰り返し [MENU] を押します。**

7. **録画を再開するには、[∨] を押して、［●録画開始へ］を選択し、[OK] を押します。**

カメラ映像を表示する

カメラの映像をディスプレイに表示して、本体の設置時の画角調整に使用します。ポータブルムービープレイヤーやカーナビなどを本機に接続すると、映像を見ることができます。

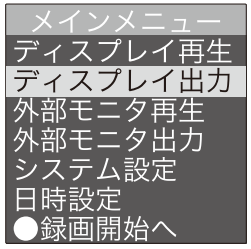
1. MENU を 1 秒以上押します。
メインメニューが表示されます。



2. ∨ を押して、［ディスプレイ出力］を選択します。

メモ

外付けのモニタで表示するときは、［外部モニタ出力］を選択します。



3. OK を押します。
カメラに映っている映像がディスプレイに表示されます。

4. カメラ映像の表示を終了するには、MENU を押します。
メインメニューに戻ります。

5. 録画を再開するには、∨ を押して、［●録画開始へ］を選択し、OK を押します。

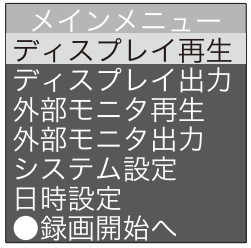
システムの設定を変更する

衝撃感度や映像の解像度など、あらかじめ設定されているシステムの設定を変更できます。
通常は出荷時の設定のままで問題なくお使いいただけます。
システムの設定情報は、SD カード内に「record.dat」という名称のファイルに保存されます。SD カードを交換した場合には、新しい SD カードにこのファイルをコピーしてください。

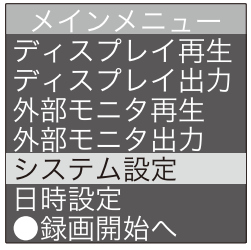
注意

新しい SD カードをセットした場合や SD カードをセットしないで本機の電源を入れた場合、SD カードに保存されているシステム設定情報を読み込むことができません。そのため、システム情報は工場出荷時の設定に戻ります。

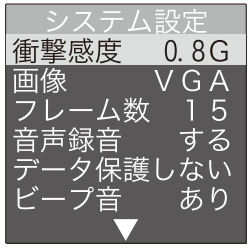
1. MENU を 1 秒以上押します。
メインメニューが表示されます。



2. ∨ を押して、［システム設定］を選択します。
システム設定画面が表示されます。



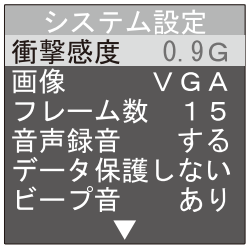
3. ∨ を押して設定を変更したい項目を選択します。
ここでは、［衝撃感度］を例に説明します。



4. [OK] を押します。

設定値が赤い文字に変わり、[OK] を押すたびに設定値が変わります。

システム設定の各項目の詳細については、次項の「システム設定について」を参照してください。



5. 変更したい値を表示させたら、[V] を押して［設定保存］を選択します。

6. [OK] を押します。

保存が終了すると、メインメニューに戻ります。

7. 録画を再開するには、[V] を押して、［●録画開始へ］を選択し、[OK] を押します。

システム設定について

システム設定では、次の項目について設定できます。
アンダーラインのついた設定値が初期値です。

衝撃感度

衝撃の感度を設定します。
0.3G ～ 1.5G まで、以下の設定値から選択することができます。
03G、05G、0.7G、0.8G、0.9G、1.2G、1.5G
最初は弱めに設定し、ご使用のたびに少しずつ感度を上げて、適切な感度になるように調整することをお勧めします。

映像

映像の解像度を設定します。
設定値　VGA（640 × 480 ピクセル）/QVGA（320 × 240 ピクセル）

フレーム数

撮影する映像の 1 秒あたりのコマ数を設定します。
設定値　15 コマ /5 コマ

音声録音

音声を録音するかどうかを設定します。
設定値　する / しない

データ保護

データを保護するかどうかを設定します。
設定値　しない / する
衝撃検知ファイルと、ボタン検知ファイルの保存のされ方を切り替えることができます。 SD カード上で衝撃検知ファイルとボタン検知ファイルに割り当てられた空き容量がある場合は、そのまま追加で保存されます。
空き容量がない場合に以下のようになります。
「保護しない」の場合：新たに衝撃検知、ボタン検知がされると衝撃検知、ボタン検知の中でもっとも古いファイルから上書きされます。
「保護する」の場合：衝撃検知、ボタン検知がされると、上書きされずエラーメッセージが表示されます。

ビープ音

ビープ音（アラーム）を鳴らすかどうかを設定します。
設定値　あり / なし

バックライト点灯時間

バックライトの点灯時間を設定します。
設定値　30 秒 / 常時
［常時］に設定すると、バックライトは常に点灯したままです。［30 秒］に設定すると、約 30 秒を過ぎるとバックライトが消灯します。

ソフトウエアをアップデートする

本体に組み込まれたソフトウエアをアップデートできます。
アップデートプログラムは、弊社 Web サイトからダウンロードしてください。
● LVR-SD100BK　http://www.logitec.co.jp/down/soft/recad/lvrsd100.html

1. PC に SD カードリーダーを接続します。
2. Windows エクスプローラーで、SD カードを開きます。
3. ダウンロードしたアップデートプログラム「EDR.BIN」を SD カードにコピーします。

   メモ

   ダウンロードしたプログラム名は、SD カードにコピーした後、すべて大文字に修正してください。
4. カードリーダーから SD カードを取り出します。
5. SD カードを本機にセットします。
6. [OK] を押しながら、電源コネクタを抜き差しし、本体の電源を入れます。
7. ビープ音がなったら手を離します。

   1 秒間隔で「ピッ」とビープ音が 15 秒間鳴ります。
   最後に「ピー」と鳴って、自動的に再起動され、アップデートが完了します。

映像を読み込む準備をする

本機で記録された映像を PC で読み込み、記録した映像の表示や保存ができます。
付属の SD カードには、記録された映像を読み込むための専用のビューアーソフト「RecordViewer」が格納されています。

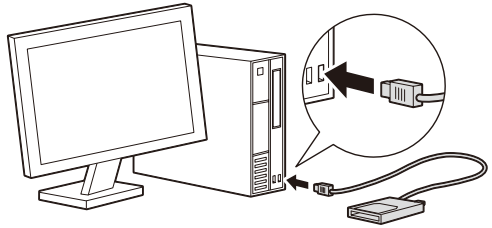
PC とカードリーダーの準備

ビューアーソフト「RecordViewer」を使用するには、次の PC と SD カードリーダーが必要です。
次の条件に合った PC、SD カードリーダーをご用意ください。

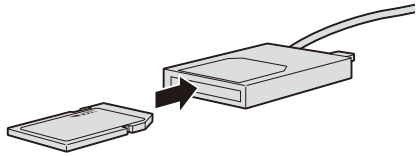
- PC（ハードディスクに、使用する SD カードの容量を超える空きがあること）
  次の OS を搭載した PC が必要です。
  Windows XP
  Windows Vista（32bit/64bit）
  Windows 7（32bit/64bit）
- SD カードリーダー
  SDHC を使用する場合は、SDHC に対応した SD カードリーダーが必要です。

RecordViewer を起動する

1. SD カードリーダーを PC に接続します。

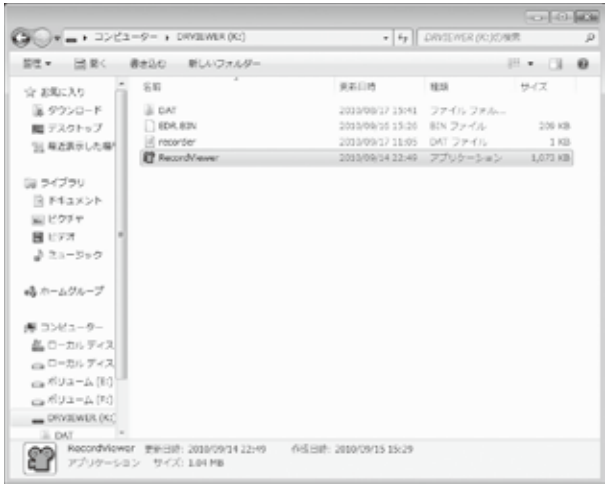


2. SD カードリーダーに SD カードをセットします。



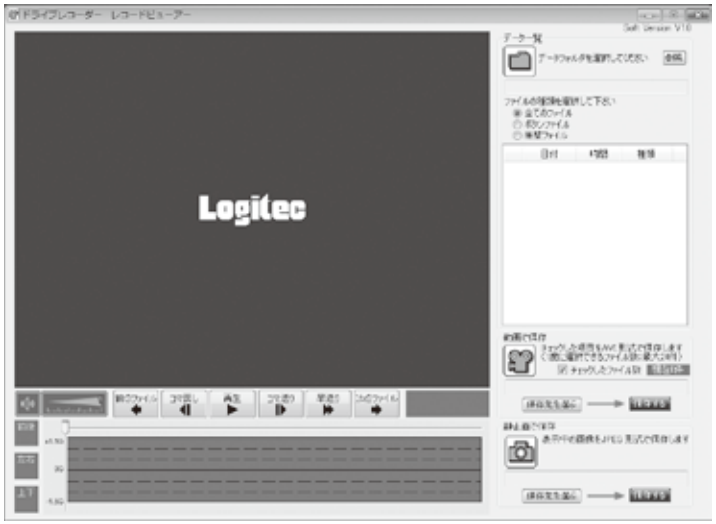
3. Windows エクスプローラーで、セットした SD カードを開きます。

本機付属の SD カードは「DRVIEWER」と表示されます。



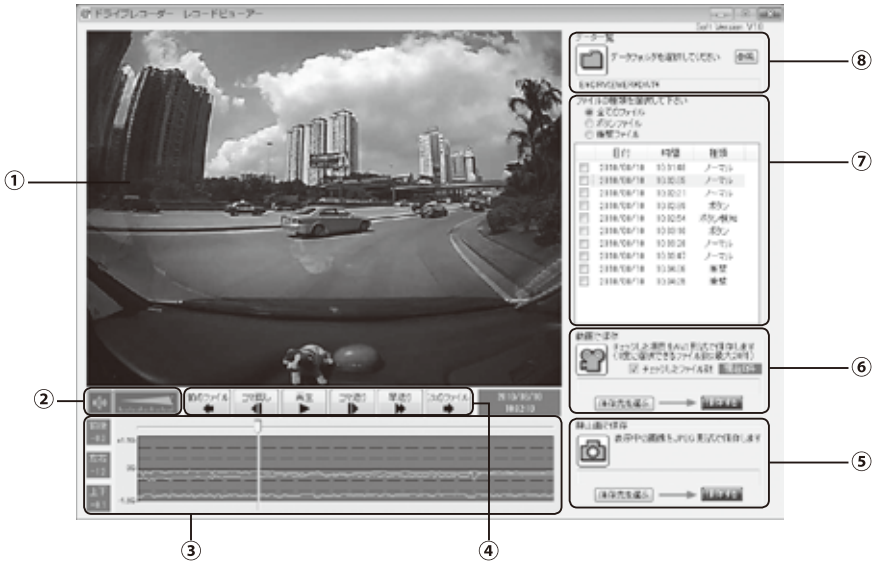
4. ［RecordViewer］をダブルクリックします。

RecordViewer が起動し、［ドライブレコーダー レコードビューアー］ウィンドウが表示されます。



RecordViewer ウィンドウ

RecordViewer ウィンドウの各部の名称と使いかたについて説明します。

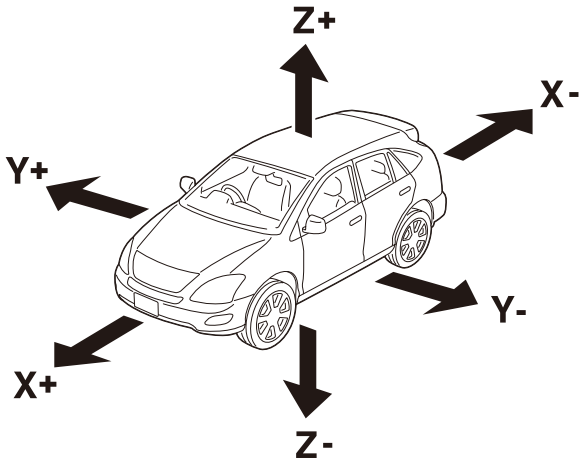


名称		機能
①	映像表示	ファイル一覧で選択したデータの映像が表示されます。
②	サウンド	音を調整します。
③	3G センサーグラフ	記録された加速度（G 値）をグラフで表示します。 縦軸が G センサーで取得した G 値、横軸が時間です。
④	再生ボタン	再生操作に使うボタンです。再生やコマ送りができます。
⑤	静止画で保存	現在表示されている映像を静止画（JPEG 形式）で保存します。 保存先を選択 をクリックして保存する場所を指定し、保存する をクリックすると、指定した場所に保存されます。
⑥	動画で保存	ファイル一覧でチェックの付いたファイルを動画（AVI 形式）で保存します。 保存先を選択 をクリックして保存する場所を指定し、保存する をクリックすると、指定した場所に保存されます。
⑦	ファイル一覧	データファイルの一覧を表示します。 ［全てのファイル］［フラグファイル］［衝撃ファイル］のどれかを選択して、指定した種類のファイルだけを表示できます。
⑧	ファイルの場所	参照 をクリックして、SD カード内の［DAT］フォルダーを選択します。

3G センサーグラフについて

3G センサーグラフの［上下］［前後］［左右］は、次の図の XYZ の方向と対応しています。

Z：上下　下がー、上が＋
X：前後　後がー、前が＋
Y：左右　左がー、右が＋



ファイルの種類

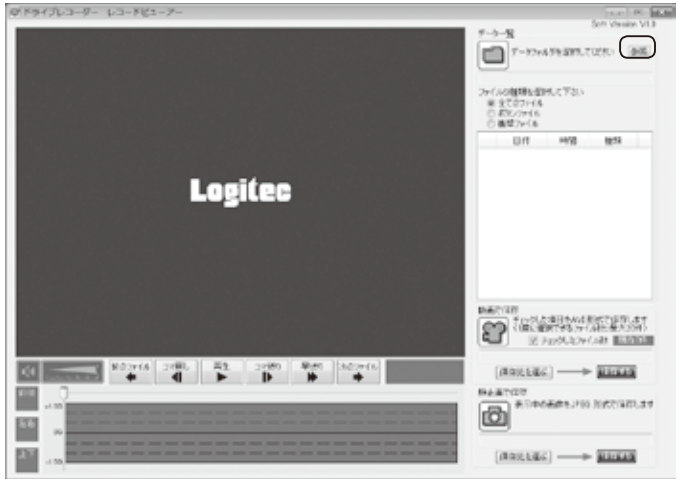
RedordViewer ウィンドウのファイル一覧には、次の 5 種類のファイルが表示されます。

種類	記録形式
ノーマル	常時録画のときに作成される映像ファイルです。約 8MB（VGA で約 23 秒）ごとに 1 ファイルが自動的に作成されます。 本体ディスプレイに表示される拡張子「NOR」のファイルです。
衝撃検知	衝撃を検知したときに作成される画像ファイルです。 本体ディスプレイに表示される拡張子「SHC」のファイルです。
衝撃	衝撃を検知したときに作成される、衝撃検知ファイルの前後 2 つの映像ファイルです。 本体ディスプレイに表示される拡張子「SHO」のファイルです。
ボタン検知	▶ を押したときに作成される映像ファイルです。 本体ディスプレイに表示される拡張子「BUC」のファイルです。
ボタン	▶ を押したときに作成される、ボタン検知ファイルの前後 2 つの映像ファイルです。 本体ディスプレイに表示される拡張子「BUT」のファイルです。

記録された映像を再生する

SD カードに記録された映像を再生します。

1. 参照をクリックします。

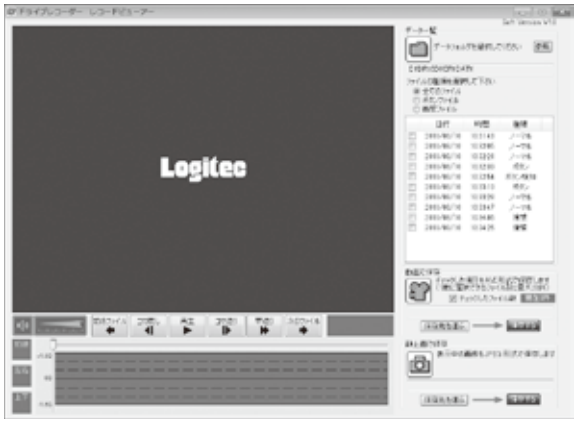


［フォルダーの参照］ダイアログボックスが表示されます。

2. SD カード中の「DAT」フォルダーを選択し、［OK］ボタンをクリックします。

フォルダー内のファイルが読み込まれ、ファイルの一覧に表示されます。

3. ファイルの一覧から、表示したいファイルを選択します。



メモ

ファイルの種類の違いについては、「ファイルの種類」（P. 26）を参照してください。
選択したファイルの映像が表示されます。

4. 再生 を押します。

映像が再生されます。

メモ

再生されるデータは、マイドキュメントフォルダに作成される Drplayer フォルダに一時的にコピー されます。コピーされたファイルはビューアーの終了時に削除されます。

映像の再生に使うボタン

RecordViewer で映像をモニタするときは、次のボタンを使います。

ボタン	機能
前のファイル	再生中の映像ファイルの、ひとつ前のファイルに移動します。
コマ戻し	このボタンをクリックするたびに、1 コマずつ映像を巻き戻します。
再生	選択した映像ファイルを再生します。 再生が開始されると、一時停止 に変わります。
一時停止	再生中の映像を一時停止します。 一時停止中に、このボタンをクリックすると、再生が再開します。
コマ送り	このボタンをクリックするたびに、1 コマずつ映像を送ります。
早送り	再生中の映像を早送りします。
次のファイル	再生中の映像ファイルの、次のファイルに移動します。

データをバックアップする（コピー）

付属の SD カードには、専用ビューアーソフト「RecordViewer」、設定ファイル、記録されたデータが格納されています。誤って削除したり、何らかの原因でデータが破損したりする場合に備えて、定期的にデータをバックアップ（コピー）しておくことをお勧めします。

メモ

コピーするデータの数やサイズによって、保存するためのハードディスクの空き容量が必要です。

1. **バックアップデータをコピーするためのフォルダーを作成します。**
   ここでは、例として「Backup」フォルダーを作成します。
2. **作成した「Backup」フォルダーをダブルクリックして開きます。**
3. **Windows エクスプローラーで、セットした SD カードを開きます。**
4. **［編集］メニューから［すべてを選択］を選択します。**
   SD カード内のすべてのフォルダー、ファイルが選択されます。
5. **[Ctrl] キーを押しながら、SD カード内の選択されたフォルダー、ファイルを「Backup」フォルダーにドラッグ & ドロップします。**
   SD カード内のすべてのフォルダー、ファイルが、「Backup」フォルダーにコピーされます。
6. **開いているウィンドウを閉じます。**

映像を変換する

専用のフォーマットで記録されている映像ファイルを一般的な動画形式（AVI）、静止画像（JPEG）の形式に変換して保存できます。

映像を AVI 形式で保存する

選択した映像ファイルを AVI 形式で保存します。

1. **ファイルの一覧で、保存するファイルにチェックを付けます。**

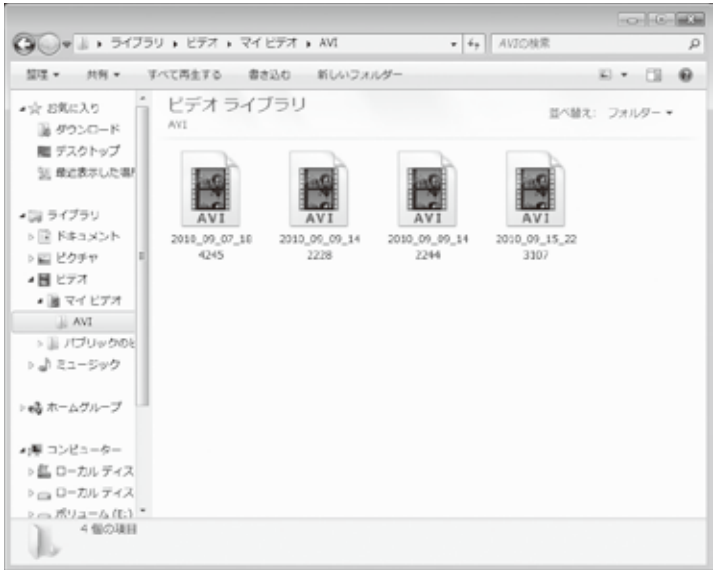
2. **［動画で保存］ 保存先を選ぶ をクリックします。**
   ［フォルダーの参照］ダイアログボックスが表示されます。

3. 保存先のフォルダーを選択し、［OK］ボタンをクリックします。

[ドライブレコーダー レコードビューアー] ウィンドウに戻ります。選択したフォルダーのパスが表示されます。

4. 保存する をクリックします。

映像ファイルが指定したフォルダーに AVI 形式の映像ファイルとして保存されます。



メモ

ファイル名は、年月日時分秒で自動的に付けられます。

映像を静止画で切り出して保存する

表示した映像を JPEG 形式の静止画として保存します。

1. ファイルの一覧で、表示するファイルを選択します。

2. 再生 をクリックします。

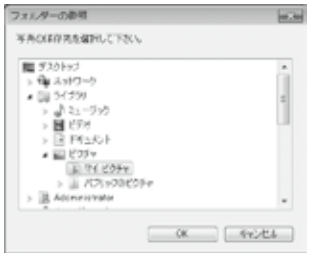
選択した映像ファイルの再生が開始されます。

3. 保存したい映像が表示されたら、一時停止 をクリックして、映像の再生を停止させます。

4. ［静止画で保存］ 保存先を選ぶ をクリックします。

［フォルダーの参照］ダイアログボックスが表示されます。

5. 保存先のフォルダーを選択し、［OK］ボタンをクリックします。



[ドライブレコーダー レコードビューアー] ウィンドウに戻ります。選択したフォルダーのパスが表示されます。

6. 保存する をクリックします。

映像が指定したフォルダーに JPEG 形式のファイルとして保存されます。

メモ

ファイル名は、年月日時分秒で自動的に付けられます。

困ったときは

修理を依頼される前に、次の症状・対処方法を確認してください。症状が該当しない、または指示どおりにしても解決できない場合には、お買い上げの販売店・弊社テクニカルサポートにご連絡ください。

Q: 本体の取り付けに失敗しました。

A: スタートアップガイドの設置方法を参考に、縦横の調整を試してください。それでも調整ができない場合は、再度貼付けが必要となります。その際一度貼り付けた両面テープは剥離後に粘着性が低下しますので、使用しないでください。再度貼付ける際は、製品に添付された予備のドライブレコーダー用の両面テープか、同等の市販の両面テープを使用して貼付けることをおすすめします。

Q: ディスプレイに走行中の映像がリアルタイムで表示されません。

A: 安全のため、走行中の映像は、ディスプレイ、ビデオ出力のどちらにもリアルタイムで出力することはできません。

Q: 急ブレーキや急加速のときも、データ保護がされない、また直ぐに反応してしまう。

A: 設定メニューのシステム設定で、「衝撃感度」設定を変更して、保護機能の働く G センサの値を調整してください。また、使用状況に合わせてこの設定を適宜調整することをお勧めします。

Q: 電源が入らない / 録画が開始されない

以下のステップを確認してください。

- シガープラグとシガーソケットとの接続が正しいか確認してください。
- 製品の DC ジャックにシガープラグコードの電源ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
- シガープラグ内部のヒューズが切れていないか確認してください。切れている場合は同じ容量（0.3A) のヒューズと交換してください。
- シガーライターをタバコの点火に多用されている場合は、シガーソケット内部が汚れていないかを確認し、2、3 度シガープラグを廻しながら入れるなどすることを試してください。

Q: シガープラグとシガーソケットの形状が合わない。

A: 市販のシガーソケットを複数に分配するソケットなどを使用して取りつけてください。

Q: 撮影した映像の時刻が合わない。

A: 日時情報は内部の充電池で保持されますので、購入直後や長期間充電がなされない場合、時刻が合わなくなることがあります。また製品の仕様上、日時情報は時間経過や使用環境によってずれることがあります。念のため、製品をお使いになる前（走行前）には毎回時計の日時を確認し、必要であれば調整を行ってください。また日時情報は、1 ヶ月程度で定期的に設定していただくことをお勧めします。

Q: 録画が開始されない。

A: 以下のステップを確認してください。

- SD カードが正しく挿入されているか確認してください。
- SD カードに付いているプロテクトスイッチが LOCK になっている場合、SD カードに記録ができません。SD カードの LOCK を解除して再度挿入してください。
- SD カードに異常がある場合もエラーとなり録画が開始されません。その場合は SD カードを取り換えてご使用ください。
- Windows で SD カードのフォーマット（初期化）を試みてください。Windows でフォーマットした SD カードが認識できない場合は、下記の URL からフォーマッターをダウンロードしてお使いください。
  URL
  http://www.sdcard.org/jp/consumers/formatter/
  SD カードのフォーマットについては、SD フォーマッターの使用方法を参照してください。

Q: 記録が保存されない。

A: データ保護がかかっているときは、SD カードの情報記録データ部分の領域がいっぱいになった場合、情報が記録されずエラーとなります。
その際は、システム設定のデータ保護を OFF にするか、SD カード内の記録データを移動・削除してください。または、新しい SD カードに差し換えてください。

Q: 映像データが途切れてしまった

A: 映像記録中に電源が切断された場合､記録ファイルはその段階で途切れます｡そのため､所定のサイズに満たない映像ファイルが記録されることがあります。

Q:PC ソフトウェア（RecordViewer）を削除してしまった。

A: 弊社サポートページからダウンロードしてください。
● LVR-SD100BK　http://www.logitec.co.jp/down/soft/recad/lvrsd100.html

製品仕様

製品型番	LVR-SD100BK
撮影素子	CMOS カラー
画素数	有効画素数 30 万画素
画角	水平 :112°　垂直 :92°
LCD	128 × 128 ドット 6 万 5 千カラー バックライト　ON/OFF 設定可能 撮影映像の確認、記録映像の出力、システム設定が可能 ※録画中は撮影映像はディスプレイに出力されません。
操作音、エラー音	○ (ON/OFF 設定可能)
ビデオ出力	3 ピンミニジャックにて出力 (ケーブルは付属していません)
電源電圧	DC+12V/24V 両対応
記録メモリ	SD カード ,SDHC カード対応
電源バックアップ	データ保護機能 (電源 OFF 時)
時刻設定保持	電源 OFF での保持 : 約 1ヶ月
記録形式	独自形式 (専用拡張子)
フレームレート	15fps,5fps
イメージサイズ	VGA /QVGA
1 件当りのデータサイズ	8MB
音声録音	○ (ON/OFF 設定可能)
記録方式	常時録画 + イベントデータ保護
記録データ	日時、加速度、映像ファイル
記録件数	約 240 件（付属 4GB メモリ）
データ保護条件	3G センサー (7 段階設定可能 , 初期値 0.8G に設定) で衝撃を検知 手動データ保護可能
動作温度	-20℃～ 70℃
※湿度	10% ～ 75%（ただし結露なきこと)
保管温度	-30℃～ 80℃
※湿度	10% ～ 75%（ただし結露なきこと)
外形寸法	72 × 42 × 75mm(突起部分を除く)
重量	110g
ヒューズ	250V　0.3A
ケーブル長	約 4m
対応 OS	Windows XP, Windows Vista (32bit/64bit), Windows 7 (32bit/ 64bit)
パソコン推奨環境	グラフィック：XGA（1024X768）以上の解像度 メモリ：Windows XP, 128MB 以上 Windows Vista 32bit, 512MB 以上 Windows Vista 64bit, 512MB 以上 Window 7 32bit, 1GB 以上 Window 7 64bit, 2GB 以上 CPU: Pentium4　1GHz 及び同等以上

サポート修理受付窓口のご案内

■製品に関するお問合せ

本製品は、日本国内仕様です。国外での使用に関しては弊社ではいかなる責任も負いかねます。また国外での使用、国外からの問合せにはサポートを行なっておりません。This product is for domestic use only.
No technical support is available in foreign languages other than Japanese.
よくあるお問い合わせ、対応情報、マニュアル、修理依頼書、付属品購入窓口などをインターネットでご案内しております。ご利用が可能であれば、まずご確認ください。

サポートページ　　6409.jp（http:　は必要ありません）

テクニカルサポート（ナビダイヤル）　0570-022-022
月～土（祝日営業）10:00-19:00　※夏期、年末年始、特定休業日を除く

お問合せの前に以下の内容をご用意ください。
- 弊社製品の型番
- ご利用の車種
- ご質問内容 (症状、やりたいこと、お困りのこと)
  ※可能な限り、電話しながら操作可能な状態でご連絡ください。

■修理について

製品保証は、日本国内においてのみ有効です。国外からの修理依頼は、保証期間の有無を問わず対応いたしません。
This warranty is valid only in Japan.
製品本体以外の付属品は、保証対象ではありません。
付属品問合せ窓口へメールにてご相談ください。
http://www.logitec.co.jp/pro/fuzoku.html
修理終息製品の検索、依頼の手順、修理依頼書（PDF ファイル）をインターネットへ掲載しております。ご利用が可能であればご確認をお願いします。
http://www.logitec.co.jp/support/service.html
修理は、修理センターへお送りいただいた依頼品を修理（製品交換の場合あり）してご返却します。保証期間中の修理については、保証規定に従い修理します。保証期間の有無が確認できない場合、保証期間を超えた修理については有料となります。ただし、生産終了後の経過期間によっては修理できない（修理終息）場合がありますのであらかじめご了承ください。

■修理ご依頼時の確認事項

- 修理期間中の貸出機、代替機はありません。
- 保証期間の有無にかかわらずご送付頂く際の送料はお客様負担となります。
- 輸送中の紛失、破損に関して弊社では責任を負いかねます。梱包材を用いて梱包し、必ず発送の控えが残る宅配便にてご送付いただき、依頼品がお手元に戻るまで発送の控えは大切に保管してください。
- 保証期間内の修理を依頼される場合は、ご購入年月日の確認できる販売店印のある保証書、保証書シール、レシートを添付してください。
- 依頼品には、お客様の氏名、連絡先（ご住所 / 電話番号）、故障の状態を書面にて添付してください。

■修理依頼先

〒 396-0111　長野県伊那市美すず六道原 8268
ロジテック株式会社 3 番窓口エレコムグループ修理センター
TEL:0265-74-1423　FAX:0265-74-1403
○電話受付時間
月～金　9:00 ～ 12:00、13:00 ～ 17:00
※祝日、夏期、年末年始、特定休業日を除く
製品に関する技術的なお問合せや修理が必要かどうかについてのお問合せは、テクニカルサポートへお願いします。

■廃棄について

お住まいの自治体の区分にしたがって廃棄してください。

保証規定

■保証内容

保証期間はご購入日より 1 年間とさせていただきます。
製品添付のマニュアル、説明ファイルの記載事項にしたがった正常な使用状態で故障した場合には、本保証書に記載された内容に基づき、無償修理をいたします。
なお、本保証書は日本国内においてのみ有効です。
- 経年劣化、外観上の傷は保証対象ではありません。
- 補償の上限は製品代金と同額までとします。
- 付属品は保証対象ではありません。
- 内蔵バッテリは保証対象ではありません。
- 外観損傷（本製品の傷や破損）については、保証の対象なりませんので、外観損傷に対する修理・修繕は行いません

■免責事項

本製品の故障または使用によって生じた、お客様の保存データの消失、破損等について、保証するものではありません。直接および間接の損害について、弊社は一切の責任を負いません。

個人情報の取り扱いについて

修理依頼・製品に関するお問い合わせなどでご提供いただいたお客様の個人情報は、修理品やアフターサポートに関するお問い合わせ、製品およびサービスの品質向上・アンケート期間から法的義務を伴う開示請求を受けた場合を除き、お客様の同意なく第三者への開示はいたしません。お客様の個人情報は最新の注意を払って管理いたしますので、ご安心ください。

Logitec

保 証 書

製品名	★シリアル No.（製品本体に記載）	保証期間
□ LVR-SD100BK		ご購入から　1 年間

★お客様ご記入欄

フリガナ
お名前
ご住所　〒 TEL（　　）　　-

☆ご販売店様

ご購入日
ご住所・店名・TEL・ご担当者名

※お客様の正常なご使用状態で万一故障した場合には、本保証書に記載された期間、規定のもとに修理を致します。修理をご依頼の際は、必ず本保証書を添付してください。また、保証書の再発行は行いませんので、紛失しないように大切に保管してください。★印の欄は、お客様にご記入いただくものです。☆印の欄は、販売店でご記入いただくものです。記入が無い場合は、お買い上げの販売店にお申し出ください。

販売店様へ
お客様へ商品をお渡しするとときは、必ず☆印の欄に所定事項をご記入ください。記入漏れがありますと、保障期間内でも無償修理が受けられませんのでご注意ください。

Logitec

LVR-SD100BK 取扱説明書
2013 年 1 月 第 2 版
ロジテック株式会社
© 2010 LOGITEC CORPORAITION All rights reserved.